

令和3年度 荒浜小学校 学校経営方針

校長 中村 正人

1 教育目標 学ぶ子 高まる子 きたえる子

2 学校経営の基本理念

学校は、子どもたちが安心して「学ぶ」ことができる場 「子どもにとって」
先生方が子どもにとって「最大の教育環境」

3 目指す子どもの姿

(知育) 自分の考えをいきいきと伝える子 … 学ぶ子
(徳育) 他者と適切に関わって、互いのよさを伸ばし合う子 … 高まる子
(体育) 自分の生活、健康、安全を正しく維持できる子 … きたえる子

4 年度の重点目標

(知育) よりよい学習習慣と基礎学力を身に付け、主体的に表現する子どもの育成
(徳育) 「かかわりあい ささえあい みとめあい」を実現できる子どもの育成
(体育) 健康生活習慣づくりができ、身体の健康・安全を守る子どもの育成

5 重点取組

(1) 自己肯定感を高め、自分の考えを表現する力の育成

- ①自己有用感を感じる授業、自己決定の場がある授業、共感的人間関係が深まる授業
- ②小中で取り組む家庭学習習慣形成の指導
- ③読み聞かせ、読書指導の充実（「縦割り班音読（新規）」の取組）
- ④個の課題意識を基本にした校内研修の実施

(2) 子ども一人一人に寄り添い、自信を高め、よさを伸ばす特別支援教育の充実

- ①適切な支援の重要性に対する理解・啓発「10時を過ぎたら こんにちは」
- ②指導方法に関わる教職員研修の実施
- ③計画的な校内支援委員会の開催による情報共有と指導の評価
- ④医療、福祉、専門相談機関との密な連携

(3) 人権教育、同和教育を柱とした心に響き、心を通わず道徳授業や体験的活動の実施

- ①人権感覚を磨き、正しい価値観や生き方を学ぶ同和問題学習、道徳科授業の充実
- ②心を通わず体験活動、行事の実施
- ③ふるさと自然を生かした体験活動の実施（ふるさと遠足、高浜コンサート等）
- ④いじめ・不登校への対応（児童を語る会、教育相談、リーダーを育てる縦割り班活動）
「自分がされて嫌なことは 友だちにはしない」

(4) 学力向上のための良い健康生活習慣づくり

- ①メディアコントロール力を高める指導の工夫
- ②適切な時間管理意識を高める「自分で決めて自分で守る」指導の強化
- ③健康生活（睡眠、食、病気予防、運動習慣）指導の充実

(5) 午前5時間制を活用した学校運営

- ①メリハリのある生活づくり（学習や生活のけじめ、時間割の調整、午後のゆとりの利活用）
- ②昼休みの確保、放課後の個別・補充指導
- ③諸会議、打合せ、研修、教材研究、教育相談等に充てる時間の確保